

女性(膣) 自己採取手順

A

●採取方法が悪いと検査できないことがあります。必ずはじめにこの説明書をよくお読みください。

〈自己採取法〉による検査とは

専用の採取器具で、子宮腔部の細胞を採取します。それを保存液に浸し、提出します。その細胞の様子から、性感染症と子宮頸がんの有無を調べる方法です。

採取する時の注意事項



1.手をよく洗いましょう。



2.採取前に入浴不可



3.採取前の性交不可



4.妊娠中は不可

※生理中の方は生理終了後、約1週間経過後してから採取してください。

※採取前に膣内の洗浄をしまうと正しい結果が得られません。

自己採取の手順



1.「加藤式自己擦過法器具」をおけ、器具・固定液・説明書を取り出します



2.ケース入り器具と固定液を取り出します。



3.器具の黄色いゴムのキャップをはずして、しゃがんだ姿勢になります。



4.ゆっくりと膣の中深くツバが当たるまで入れます。



重要!

5.ピストンの部分を押し込みます。



重要!

6.ピストンを完全に押し込み、ハンドルを6回まわします。

自己採取の手順(続き)



7.ピストンを引き、元に戻してから器具を膣から取り出します。



8.ピンク色の固定液をスポンジに全て注ぎ入れます。



9.ゴムのキャップでしっかりとふたをします。



10.器具を元のケースに収めます。



11.同封の「依頼書」に住所氏名と問診内容に記入をおこなってください。



ラベル記入

No	所属	採取日	月	日
住所				
氏名		年齢		

12.容器にあらかじめ貼られているシールに氏名・年齢・採取日を書いてください。



13.返信用封筒に採取器具を収めた容器と依頼書を返信用封筒に入れてポストへ投函してください。